

平成29年度行政事業レビューシート ( 内閣府 )											
事業名	沖縄力発見創造事業			担当部局庁	政策統括官(沖縄政策担当)			作成責任者			
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	平成33年度	担当課室	総括担当参事官室			参事官 中嶋 護			
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法			関係する計画、通知等	沖縄振興基本方針(平成24年5月 内閣総理大臣決定)						
主要政策・施策	沖縄振興、地方創生			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	企業誘致を積極的に行い、本土企業や海外企業に沖縄への投資・進出を促し、沖縄県の産業振興や雇用創出等、県民生活の豊かさ向上につなげるほか、沖縄県内産業関係者と本土企業との交流を通じ、新たなビジネスチャンスを創造する。また、東アジアの中心に位置する地理的優位性や日本一高い出生率など沖縄の持つポテンシャルや内閣府の実施する沖縄振興策(税制等)について、国が主体となって本土企業及び海外企業関係者に周知等する。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	これまで4年間実施してきた「沖縄力発見ツアー」のフォローアップ調査を行う。フォローアップ調査の結果を踏まえながら、本土企業・海外企業から参加者を募り、沖縄県内を視察するツアー等を実施する。										
実施方法	委託・請負										
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
		補正予算	-	-	-	59	60				
		前年度から繰越し	-	-	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
		予備費等	-	-	-	-					
		計	0	0	0	59	60				
	執行額	-	-	-	-	-					
	執行率(%)	-	-	-	-	-					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!					
	平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
沖縄振興開発調査委託費		59	60								
計		59	60								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 33年度	年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)											
横断的な施策に係る 成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	分類	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	年度	
	-	-	直接効果	成果実績	円/t-CO2	-	-	-	-	-	-
				目標値	円/t-CO2	-	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-	-	-
地球温暖化対策 関係	-	-	直接効果	成果実績	円/t-CO2	-	-	-	-	-	
				目標値	円/t-CO2	-	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-	-	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載											
チェック											

定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由		定性的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績								
		過去の沖縄力発見ツアーの課題の整理及び沖縄の持つポテンシャルや内閣府の沖縄の振興策の周知等を目標とするため。		過去の沖縄力発見ツアーの課題の整理及び沖縄の持つポテンシャルや内閣府の沖縄の振興策の周知等を行うこと。							
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	実績	報告書一式	-	-	-	-	中間目標	目標最終年度	
			目標値	報告書日式	-	-	-	-	年度	29年度	
			達成度	%	-	-	-	-		年度	
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	実績	事業一式	-	-	-	-	中間目標	目標最終年度	
			目標値	事業一式	-	-	-	-	年度	33年度	
			達成度	%	-	-	-	-		年度	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
	フォローアップ調査の実施回数		活動実績	調査の実施回数	-	-	-	-	-	-	
			当初見込み	調査の実施回数	-	-	-	1	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度			
	ツアーの実施回数		活動実績	ツアーの実施回数	-	-	-	-	-	-	
			当初見込み	ツアーの実施回数	-	-	-	2	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込				
	Xフォローアップ調査の執行額/Yフォローアップ調査の実施回数		単位当たりコスト	百万円	-	-	-	-			
	※現時点で執行額が未定のため、29年度活動見込の記入は困難		計算式	X/Y	-	-	-	-			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込				
	Xツアーの執行額/Yツアーの実施回数		単位当たりコスト	百万円	-	-	-	-			
	※現時点で執行額が未定のため、29年度活動見込の記入は困難		計算式	X/Y	-	-	-	-			

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	沖縄振興特別措置法や基本方針等を踏まえて事業を実施しており、国民や社会のニーズを反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	沖縄県の有する特殊な事情に鑑み、国が総合的・積極的に推進する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	沖縄振興を推進するために必要かつ適切な事業であり、また、沖縄振興特別措置法や基本方針等を踏まえて事業を実施しており、優先度が高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	所管府省名	事業番号			事業名	
点検結果	点検結果					
	改善の方向性					
<b>外部有識者の所見</b>						
点検対象外						
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>						
通現り状	事業の有効性・効率性・成果について適切かつ確に検証し、予算の効率的執行に努め、執行実績を概算要求に適切に反映させるべき。					
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>						
通現り状	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き、事業の有効性・効率性・成果について適切かつ確に検証し、予算の効率的執行に努めてまいりたい。					
<b>備考</b>						
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	新29-0009					
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。					
	<pre> graph TD     A[内閣府] -- 委託費 --&gt; B[事業者] </pre>					